

労働新聞の除外を以て發行すべく準備を完了し印刷に附せらるゝした時総罷業終熄の報に接し  
中止した。

土月一日

ロシア労働組合中央評議會より招待状に接し左が出席不可能故書面にて祝辞を送った。

ソビエト大使館より招待状に接し(十一月七日革命記念日)野田律太君出席。

一九二七年

一月七日

日露労働會議代表選出に就て否認することに決定した。一月二十七日、大阪中央公會堂に於ける  
代表選出協議會に、中村、河田、松尾出席し否認に就ての意見を發表す。

四月一日

太平洋労働組合會議出席代表候補推選に就て統一同盟より申込まり協議の結果野田律太  
山本懸穂、鈴木源三郎の三名を推選す支那に對する日本政府の軍事的干渉に對し對支非干渉  
運動を起すべく指令を出す。

四月十一日

中々々民黨大阪支部主催の中心革命真相發表に就て招待状に接し野田律太、太田博西君出席す。

日民黨本部派遣の香非芳氏の演説があった。

其他活松、日本農工各業議、共同印刷等、年報報告あり。

△中央委員令報告に對する質問……審査委員附託閉會、午後五時五十分

## 第二日

午後七時三十分開會、祝電祝辭後議事日程に入る。

日程第一、労働組合運動並に一般情勢に関する報告。

中央委員令提出

不報告は第一章我が國の階級運動の方向轉機と評議會、第二章労働組合運動最近の特  
徴とその批判、第三章資本主義の一般情勢、第四章全線的發展と並に階級の陣營、第五章  
新なる任務遂行への嚮向の五章に分つて歴大なるものがあるが、第五章のものを扱革すれば如くである。

一、はしりかき

以上の報告によつて、吾々が今や新たに如何なる指導精神を支持し存せねばならんか、如何なる地位に就  
き、如何なる任務に當らねばならんか、一般的基準を示し得たのであるが、存は吾々従来の具體的運動  
方針を反省批判することによつて、新たな運動方針を一層の正確なる基準を與へ存せねばなら  
ぬ。たか全運動の方向轉換、混合型からの脱脚が一時に存せねばならぬ如く、吾々は、已に